

宝地区ゴミ減量化対策事業

実施状況について

宝地域コミュニティセンター事業の一環として、宝地区ゴミ減量化対策推進委員会が中心となり地区の皆さんの協力のもとに、資源ゴミの分別収集を六月七日から開始しました。八月二日に第二回目の収集を行った結果、宝地区二十三カ所の収集場所から回収された有価資源物は、二回の集計で、次のとおり的好調な成果を収めることができました。

- 新聞紙四九四〇kg (二八三二〇円)
 - 雑誌二五二〇kg (二二一九〇円)
 - 段ボール八三〇kg (六九七〇円)
 - 古布七六〇kg (二二六〇円)
 - 酒ビン二二一本 (六〇五五円)
 - ビールビン一九四〇本 (九八〇〇円)
 - アルミ缶一五二kg (六二六二円)
 - 総計 七一八五七円
- 売却益は宝地域小中学校PTAに配分する予定です。回収は年間を通じ二カ月に一回偶数月の第一日曜日に実施しています。また、



生ゴミ処理容器の注文を受け付けたところ、地上式五十二基、地中埋設式六十八基、計一二〇基の申し込みがありました。生ゴミの自家処理に対する深い理解を皆さんがしてくださっている結果の現れと存じます。

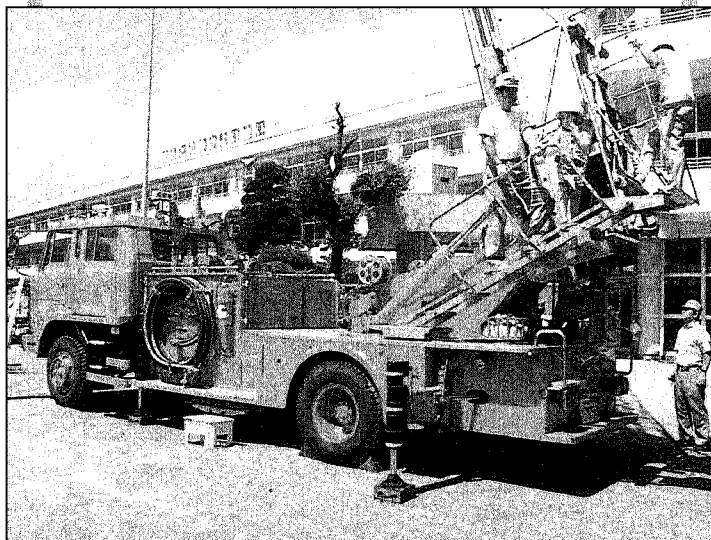
今後ともご協力をお願いするとともに、宝地区の結果が市内全域にゴミ減量化の輪として着実に広がることを期待します。

第4回

消防フェスティバル開催

8月23日、谷村第一小学校々庭で、第4回都留市消防フェスティバルが盛大に開催されました。これは市消防団活性化事業と併せて、消防団員と団員を支えている家族への感謝を表す事を目的に分団対抗の運動会として行われました。また、アトラクションとして、ミニ消防車の体験、はしご車の体験試乗も行われました。

今回は、手当てと搬送連携プレイの新しいゲームも登場し、消防団員の救急への参加の第一歩をスタートさせました。これは、今年11月に県消防学校「救急科」への入校に備えるためでもあり、関係者からは好評でした。



防災の日 各地で防災訓練が行われる

9月1日の『防災の日』には市内各地で防災訓練が実施されました。

今年の総合訓練会場となった鹿留団地でも、初期消火訓練をはじめ、地域の皆さんが総参加のもと、もしもの時に備え、実践さながらの訓練が行われました。

人権擁護委員に

渡邊恭二氏

九月一日付をもって法務大臣から、鹿留二二六〇番地、渡邊恭二氏が人権擁護委員に委嘱されました。

寄贈

(敬称略)

老人保健施設の入所者のために、国際ソロプチミスト山梨―芙蓉(会長森嶋敬子)から清拭車一台(一四九三五〇円)が寄贈されました。